

平成19年度 予算総額

269億9,692万円

一般会計は138億2,000万円

会計名	18年度予算額	19年度予算額	伸び率(%)
一般会計	142億1,000万円	138億2,000万円	△ 2.7
特別会計	113億5,110万円	113億700万円	△ 0.4
老人保健事業特別会計	38億5,800万円	35億6,510万円	△ 7.6
国民健康保険事業特別会計	30億7,720万円	34億3,100万円	11.5
介護保険事業特別会計	21億2,080万円	23億5,950万円	11.3
介護サービス事業特別会計	4,630万円	2,830万円	△ 38.9
農業集落排水事業特別会計	1億4,150万円	1億4,270万円	0.8
駐車場事業特別会計	2,580万円	3,550万円	37.6
瑞浪中央土地区画整理事業特別会計	2億8,500万円	2億3,150万円	△ 18.8
下水道事業特別会計	15億7,800万円	14億9,780万円	△ 5.1
簡易水道事業特別会計	2億1,850万円	1,560万円	△ 92.9
水道事業会計	18億8,348万円	18億6,992万円	△ 0.7
予算総額	274億4,458万円	269億9,692万円	△ 1.6

魅力あるまちづくりを

平成19年度の当初予算が2月23日から

開かれた第1回市議会定例会で

可決しました。

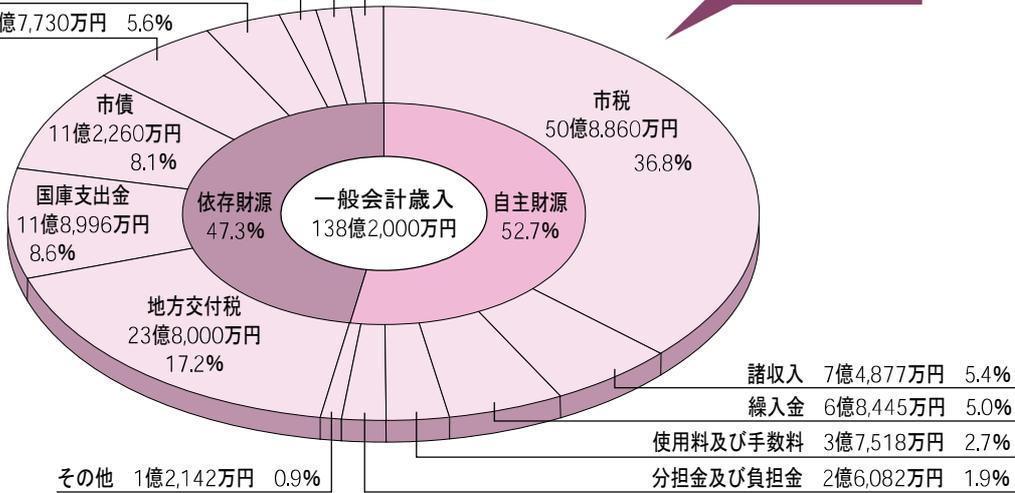
平成19年度の本市の予算額は、対前年度比1.6%の減額（一般会計△2.7%、特別会計等△0.4%）となりました。一般会計では、平成18年度に消防防災センター建設等の大きな事業が完了したことなどにより対前年度比2.7%の減額となりました。また、特別会計等では、医療・介護の需要の増大により国民健康保険事業特別会計や介護保険事業特別会計などで増加する一方で、対象年齢が引き上げられた老人保健事業特別会計や事業の大部分が水道事業へと統合された簡易水道事業特別会計などで減少し、全体で0.4%の減額となりました。

一般会計の歳入については、国からの税源移譲など制度改正により市民税で増加が見込まれますが、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税では減額が見込まれ、前年度に引き続き厳しい財政状況におかれています。事業に伴う財源の不足は、基金の取崩しや市債の発行で対応しますが、将来の市民の皆さんの大幅な負担増とならないよう計画的な運用に努めています。

歳出については、人件費など経常的経費の削減に努めつつ、子育て支援の充実、地域交流センターの建設、上水道未給水地域解消事業の継続など活力ある快適なまちづくりを目指した事業に対して重点的に予算を配分しました。地方財政の将来像が依然として不透明な中、今後安定した地方自治を進めるため、なおいっそう市政の合理化と経費の削減に努めます。

一般会計の状況

ゴルフ場利用税交付金 2億2,000万円 1.6%
 地方譲与税 2億2,100万円 1.6%
 地方消費税交付金 4億500万円 3.0%
 県支出金 7億7,730万円 5.6%



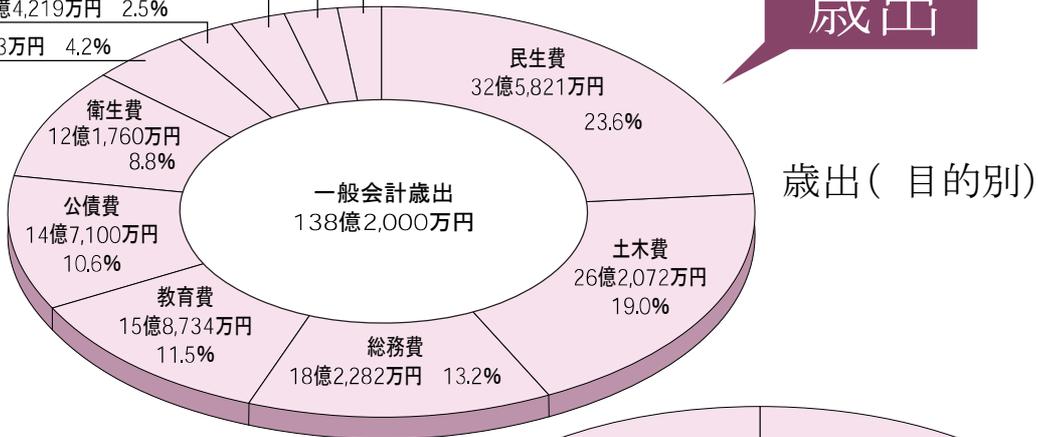
その他の内訳 (依存財源)

自動車取得税交付金	1億2,500万円
地方特例交付金	4,390万円
株式等譲渡所得割交付金	1,800万円
利子割交付金	1,600万円
配当割交付金	1,400万円
交通安全対策特別交付金	800万円
合計	2億2,490万円

その他の内訳 (自主財源)

繰越金	1億円
財産収入	1,672万円
寄附金	470万円
合計	1億2,142万円

諸支出金 3億2,050万円 2.3%
 農林水産業費 3億3,352万円 2.4%
 商工費 3億4,219万円 2.5%
 消費費 5億7,873万円 4.2%



目的別「その他」の内訳

議会費	1億7,593万円
労働費	7,144万円
予備費	2,000万円
合計	2億6,737万円

歳出(性質別)

